

患者さんへ

胸郭変形疾患に対する胸肋挙上術変法の効果に関する研究

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

1. 研究の対象

1993年4月から2021年12月に研究組織に記載のある医療機関で胸肋挙上術変法*の手術を受けられた方（湘南鎌倉総合病院では2013年4月から2021年12月に受けられた方）

*胸肋挙上術変法：肋軟骨の一部を切除再縫合することによって胸郭を矯正し、異物を留置することなく1回の手術で完結し、合併症が少なく、対象年齢が広い手術法。

2. 研究目的・方法

私達が漏斗胸に対する手術として開発した胸肋挙上術変法は、肋軟骨の一部切除と再縫合を行います。異物を留置することなく1回の手術で完結し、合併症が少なく、対象年齢が広く、鳩胸にも適応が可能です。胸肋挙上術変法を施行した患者さんの術前の状態、周術期、術後の経過をまとめます。院長承認から2022年12月まで研究を行う予定です。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「7. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、手術前後の胸郭の状態、手術後の入院期間、合併症の発生状況 等

5. 外部からの情報の受領

各情報提供機関から研究代表施設へのデータの受領は、特定の関係者以外がアクセスできない状態でを行います。対応表は、当院の個人情報管理者が保管・管理します。

6. 研究組織

【研究代表施設（責任者）】

湘南鎌倉総合病院 飯田浩司

【情報提供機関（責任者）】

名古屋徳洲会総合病院 大橋壮樹

中部徳洲会病院 河本宏昭

神戸徳洲会病院 富田雅史
葉山ハートセンター 田中江里
君津中央病院 榎本良倫
成田赤十字病院 角南勝介
獨協医科大学 福田宏嗣

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

湘南鎌倉総合病院 胸壁外科・部長 飯田浩司（研究責任者）

神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号：0467-46-1717

（西暦 2022 年 2 月 3 日 作成（第 1 版））